

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第9巻：47-64 (1200)

手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅲ

—ヨシ原、水田、畑地、斜面林(1997-1998)—

齊藤安行¹・太田紀子^{1,2}

キーワード：鳥相，個体数調査，ヨシ原，水田，畑地，雑木林，手賀沼，千葉県

はじめに

手賀沼は千葉県北部に位置する湖沼で，古くから水禽類の渡来地として知られている(黒田 1985)．我孫子市鳥の博物館と山階鳥類研究所は，手賀沼とその周辺の鳥類の生息状況を把握するため，共同で調査を実施した．調査では，調査地周辺の環境を水面，ヨシ原，水田・畑地，斜面林に区分し，各環境区分ごとにセンサス調査を行ってきた(齊藤ほか 1992a,b,1993,1994,1995,1996,1999, 平岡ほか 1994,1995,1996,1999,2000)．

本報文は，ひきつづき1997年1月から1998年12月まで行ったヨシ原，水田・畑地，斜面林の三つの環境区分におけるセンサス調査の結果を報告する．

なお，調査にあたって，敷地内の立ち入りを快く許可して下さった株式会社日立総合経営研修所および同施設の関係者の方々に深く感謝いたします．

調査地概要と調査方法

手賀沼は北部と南部二つの沼からなり，それぞれ本手賀沼，南部手賀沼と呼ばれている．調査は，本手賀沼(以下「手賀沼」と呼ぶ)周辺で行った．

手賀沼は水面面積が約360haの水域で，周囲はコンクリートの堤防で護岸されている．水面と堤防の間には，ヨシ，マコモ，ヒメガマなどの抽水植物群落が生育し，いわゆるヨシ原となっている．堤防上は散策路となっていて，歩きながら沼を一周することができる．

堤防を境に，沼の周囲には水田・畑地が広がり，さらにその背後に高度差10mほどの斜面林がある．

以上の①ヨシ原，②水田・畑地，③斜面林，三つの環境を代表する地域を選び，その中に調査ルートを設定(図1)，各ルートにつき月1回の割合で鳥類のセンサス調査を行った．

調査者は，センサスルート沿いに歩きながら，調査範囲内に出現した鳥類の種名と個体数を記録した．観察には，双眼鏡(8倍)と地上望遠鏡(30倍)を用いた．調査日時，天候は付表に示した通りである．

また，各調査地の概況と調査要領は次の通りである．

①ヨシ原

ヨシ原を代表する環境として，手賀沼上沼(手賀沼の上流域半分)南岸の堤防より水域側の抽水植物群落を選んだ(図1)．岸から水面に向かってヨシ，マコモ，ヒメガマの各群落が生育するほか，ヨシ群落の中にアカメヤナギが点在する．抽水植物群落は，岸に沿って約10mの幅(沖出し幅)で帯状に分布するが，大津川，大堀川などの流入河川の河口部では，沖出し幅最大約100mに達する部分もある．調査は堤防上に設けたセンサスルートに沿って歩きながら，抽水植物群落内に出現した種と個体数を記録した．調査範囲の面積は約14haである．

②水田・畑地

水田・畑地を代表する環境として，手賀沼の流出河川である手賀川沿いに広がる水田地

¹ 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3 我孫子市鳥の博物館

² (現所属) 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115 山階鳥類研究所



図1 調査位置図

注. 国土地理院1/5万地形図（流山、習志野、取手、白井）より引用

帯を選んだ(図1)。この水田では、毎年5月上旬に田植えが行われ、9月下旬に稲刈りが行われる。調査地水田中の作業道路沿いに調査ルートを設定し、歩行しながら調査範囲に出現した鳥の種類と個体数を記録した。調査範囲の面積は約44haである。

③斜面林

斜面林を代表する環境として、手賀沼下沼北岸沿いの斜面と台地平坦部にまたがる林地を選んだ(図1)。植生はシラカシなど常緑広葉樹の混じるアカマツ林で、一部にモウソウチク林が分布する。ヒサカキやアオキなどが林内下層に生育するが、台地平坦部の林内は下草の手入れがなされているため、下層植生に乏しい。また、斜面基部には湧水によってできた直径約20mの池があり、そのまわりにはヨシなどの抽水植物が生育する。調査は、林内の遊歩道沿いに設けたセンサスルートを歩きながら、左右それぞれ25m以内の範囲に出現した鳥の種類と個体数を記録した。調査範囲の面積は、約6haである。

調査結果

1 ヨシ原

ヨシ原では、1997年に9目18科34種の鳥類が出現し(表1)、1998年に8目18科37種の鳥類が出現した(表3)。

月別の出現種数は、1997年は最大15種(4月)、最少7種(12月)(図2)、1998年は最大16種(1月)、最少4種(9月)であった(図5)。月別の出現個体数は、1997年は最大90羽(12月)、最少34羽(8月)(図3)、1998年は最大161羽(12月)、最少20羽(9月)(図6)であった。

年間の累積個体数を比べると、1997年は多い順にスズメ(181羽)、オオヨシキリ(119羽)、オオジュリン(74羽)、ホオジロ(69羽)、カワラヒワ(36羽)、ツバメ(30羽)、カルガモ(27羽)、バン(24羽)、オオバン(15羽)、ムクドリ(14羽)と続き(表2)、1998年は、多い順にスズメ(161羽)、オオヨシキリ(145羽)、オオジュリン(95羽)、ツグミ(47羽)、カルガモ(36羽)、ツバメ(24羽)、ムクドリ(23羽)、ホオジロ(22羽)、コガモ(21羽)、キジバト(21羽)と続く(表4)。

また、春(3,4,5月)、夏(6,7,8月)、秋(9,10,11月)、冬(1,2,12月)の季節別に個体数の優占割合上位5種を比べると、1997年の春期はオオヨシキリ、オオジュリン、スズメ、タシギ、ツグミ、夏期はオオヨシキリ、ツバメ、スズメ、バン、オオバン、秋期はスズメ、カワラヒワ、カルガモ、ホオジロ、バン、冬期はスズメ、オオジュリン、ホオジロ、アオジ、カワラヒワであった。また、1998年の春期は、オオヨシキリ、オオジュリン、ムクドリ、ツグミ、コガモ、夏期はオオヨシキリ、ツバメ、カルガモ、スズメ、ゴイサギ、秋期はスズメ、オオジュリン、ツグミ、ホオジロ、キジバト、冬期はスズメ、オオジュリン、ツグミ、ホオジロ、カルガモの順であった(図7)。春期と夏期には、オオヨシキリが、秋期と冬期にはスズメが最優占種となり、それぞれ各季節の累積個体数の約30%~40%を占めた。

2 水田・畑地

水田・畑地では、1997年に9目21科41種の鳥類が出現し(表5)、1998年に9目19科40種の鳥類が出現した(表7)。

月別の出現種数は、1997年は最大18種(5月)、最少8種(12月)(図5)、1998年は最大18種(8月)、最少9種(2,11月)であった(図11)。月別の出現個体数は、1997年は最大443羽(2月)、最少47羽(6月)であり(図9)、1998年は最大215羽(1月)、最少50羽(5月)(図12)であった。

年間の累積個体数を比べると、1997年は多い順に、スズメ(365羽)、ヒバリ(294羽)、カワラヒワ(228羽)、ツグミ(98羽)、ムクドリ(96羽)、カシラダカ(81羽)、オオジュリン(59羽)、チュウサギ(41羽)、アマサギ(39羽)、タヒバリ(38羽)と続き(表6)、1998年は多い順に、ヒバリ(332羽)、スズメ(159羽)、ツグミ(100羽)、ツバメ(88羽)、カワラヒワ(72羽)、ムクドリ(68羽)、タヒバリ(67羽)、アマサギ(45羽)、カシラダカ(41羽)、カルガモ(39羽)と続く(表8)。

また、春(3,4,5月)、夏(6,7,8月)、秋(9,10,11月)、冬(1,2,12月)の季節別に個体数の優占割合上位5種を比べると、1997年春

期はヒバリ、ツグミ、カシラダカ、カワラヒワ、ムナグロ、夏期はヒバリ、セッカ、ツバメ、アマサギ、スズメ、秋期はスズメ、ヒバリ、ムクドリ、チュウサギ、カワラヒワ、冬期はスズメ、カワラヒワ、ヒバリ、ツグミ、オオジュリンであった(図10)。また、1998年春期はヒバリ、ツグミ、カルガモ、ムクドリ、ハシボソガラス、夏期はツバメ、スズメ、オオヨシキリ、チュウサギ、ヒバリ、秋期はヒバリ、スズメ、アマサギ、タシギ、コサギ、冬期はヒバリ、スズメ、ツグミ、カワラヒワ、タヒバリであった(図13)。1997年、1998年とも秋期と冬期は、ヒバリとスズメでほぼ全個体数の約50%を占めた。また、春期と夏期には、個体数の優占度が30%以上を占める種は無く、各種が平均的に出現した。

3 斜面林

斜面林では、1997年に7目20科35種の鳥類が出現し(表9)、1998年に6目18科30種の鳥類が出現した(表11)。

月別の出現種数は、1997年は最大19種(1月)、最少11種(7,8,9月)(図14)、1998年は最大19種(1,2,4月)、最少7種(8,9,10月)であった(図17)。月別の出現個体数は、1997年は最大92羽(12月)、最少35羽(9月)(図15)、1998年は最大84羽(2月)、最少23羽(9月)(図18)であった。

年間の累積個体数を比べると、1997年は多い順にヒヨドリ(272羽)、メジロ(61羽)、スズメ(56羽)、アオジ(54羽)、キジバト(43羽)、ムクドリ(41羽)、カワラヒワ(33羽)、シジュウカラ(20羽)、ハシブトガラス(20羽)、オナガ(19羽)と続き(表10)、1998年は、多い順にヒヨドリ(196羽)、アオジ(73羽)、メジロ(52羽)、カワラヒワ(46羽)、キジバト(43羽)、スズメ(41羽)、ムクドリ(40羽)、シジュウカラ(19羽)、コゲラ(18羽)、ハシブトガラス(15羽)と続く(表12)。

また、春(3,4,5月)、夏(6,7,8月)、秋(9,10,11月)、冬(1,2,12月)の季節別に個体数の優占割合上位5種を比べると、1997年の春期はヒヨドリ、アオジ、スズメ、オナガ、キジバト、夏期はヒヨドリ、ムクドリ、スズ

メ、カワラヒワ、メジロ、秋期はヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、スズメ、キジバト、冬期はヒヨドリ、アオジ、メジロ、キジバト、カワラヒワであった(図16)。また、1998年の春期はヒヨドリ、アオジ、スズメ、カワラヒワ、キジバト、夏期はヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、メジロ、キジバト、秋期はヒヨドリ、メジロ、キジバト、アオジ、カワラヒワ、冬期はヒヨドリ、アオジ、メジロ、カワラヒワ、キジバトであった(図19)。1997年、1998年とも全季節を通じてヒヨドリが最優占種であり、その優占率は秋期(約50%)が他の三シーズン(約20%~30%)に比べ高かった。

表1 ヨシ原のセンサス結果 (1997年)

種名	月/日												計
	01/17	02/14	03/13	04/16	05/15	06/19	07/16	08/26	09/19	10/16	11/19	12/17	
ガイツアリ							2						2
ヨシコイ						2	2	3					7
コイサキ						1		1					2
ダイサキ									1				1
コサキ												1	1
加カモ				1			4	2	13	3	4		27
コカモ				4									4
キン					1			1					2
バン		1	1	3	1	3	8	1		6			24
オバン				5		3	4	2	1				15
イソキ								2					2
タシキ				7									7
キンハト			2	1	1			2	2				8
ガセミ			2				1	1		1	2		7
ツハメ				1	3	11	7	2	6				30
イワツハメ				1		1							2
ハケケレイ			3			1				1	2		8
セグロセレイ										2			2
ヒヨトリ	1				2					1			4
モス										1	1		2
ジョウビタビ		1									1		2
ツクミ	2		3	3									8
ウグイス		1		1							3	2	7
オヨシキリ					45	43	26	4	1				119
セッカ		1		1	2				1	2	2		9
オシロ	16	3	3	1					2	1	10	33	69
オカ		1											1
アサ	1	5		2									8
オシロ	20	21	12	3							6	12	74
ガラビ	4					1		5		4	21	1	36
スズメ	20	31	6		4	7	4	8	6	25	30	40	181
ムクドリ	1	2	4		1		5		1				14
オカ							1						1
ハシホソカラス				1								1	2
オシロ科sp.			6										6
個体数合計	65	67	42	35	60	73	64	34	35	47	82	90	694
出現種数	8	10	9	15	9	10	11	13	11	11	11	7	31

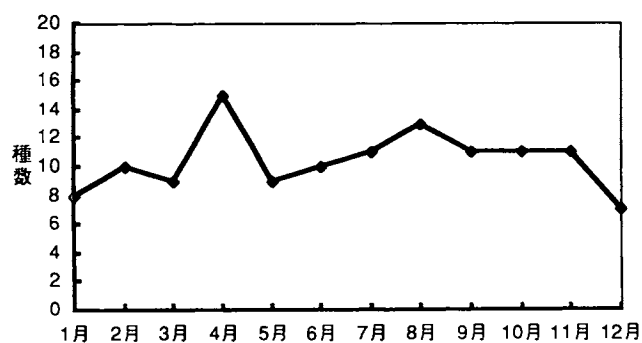


図2 種数の月変化 (ヨシ原)

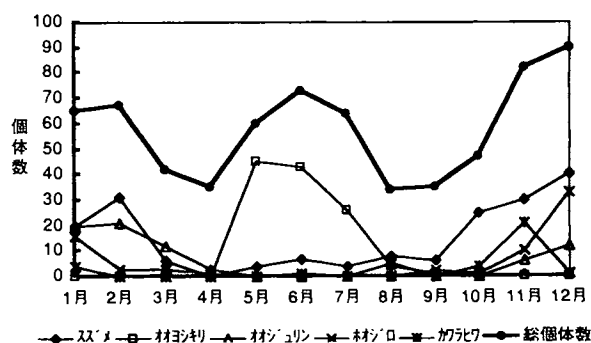
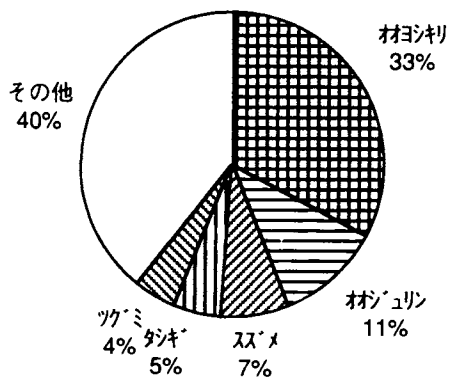


図3 個体数の月変化 (ヨシ原)

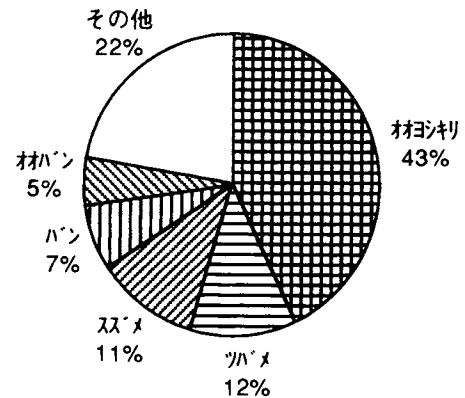
表2 種別年間累積個体数 (ヨシ原)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	スズメ	181	21	コガモ	4
2	オヨシクリ	119	22	ヒヨドリ	4
3	オジュリン	74	23	カヅドリ	2
4	ホシロ	69	24	コイサキ	2
5	カワビ	36	25	キジ	2
6	ツハメ	30	26	イソギ	2
7	カガモ	27	27	イワハメ	2
8	バン	24	28	セウシキ	2
9	オバン	15	29	モズ	2
10	ムクドリ	14	30	シヨビ	2
11	セッカ	9	31	ハシカ	2
12	キジハト	8	32	タイサキ	1
13	ウセキ	8	33	コサキ	1
14	ツクミ	8	34	ホシ	1
15	アジ	8	35	ホシ	1
16	ヨシ	7		計	694
17	タキ	7			
18	カセミ	7			
19	ウグイス	7			
20	ホシロ科sp.	6			

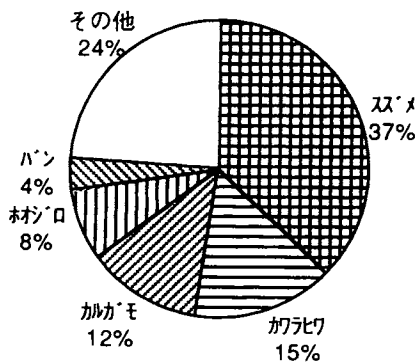
春期 (3,4,5月) の累計 (n=137)



夏期 (6,7,8月) の累計 (n=171)



秋期 (9,10,11月) の累計 (n=164)



冬期 (12,1,2月) の累計 (n=222)

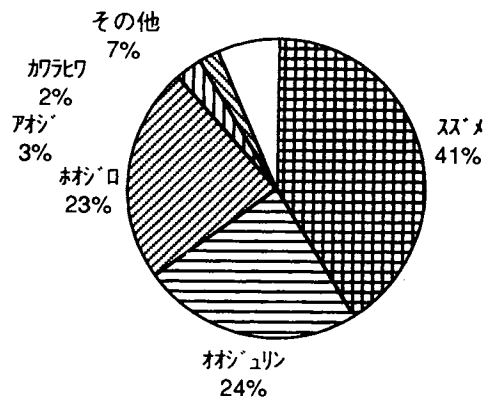


図4 各季節の優占種 (ヨシ原)

表3 ヨシ原のセンサス結果 (1998年)

種名	月/日												計
	01/22	02/18	03/18	04/17	05/21	06/17	07/14	08/25	09/17	10/15	11/18	12/16	
ヨシコイ						4	4						8
コイサキ							9	1					10
コサキ										1			1
アサキ			1		1								2
カガモ	2	5	6		4		6	10				3	36
コガモ			3	8								10	21
ミコアイ	1												1
オオカ		1											1
チュウビ												1	1
ハヤブサ												2	2
キン		1		1									2
バン	1	1	2	4	3	1	3	3	1	1			20
オオバン	2		3	4	4	2		1				1	17
キンハト	5		5	1	1	1		2	5	1			21
ガカミ		1		1									2
ツハメ					6	9	6	2	1				24
イワツハメ					3	1							4
ハクセキレイ	1	1						1		2	2		7
セウロセキレイ	4												4
クハハリ	1												1
ヒヨトリ													
モス	1	1	2	1									5
ルビキ										3			3
ジョウビキ	2		1										3
ツグミ	4	9	2	12							13	7	47
ウグイス			2								1	1	4
オオヨシキリ					60	57	26	2					145
セッカ										1		2	3
オオシロ	4	3	2				1				6	6	22
カンタカ	3												3
アヒ	2	1	1	3							2	2	11
オオジュリン	7	4	22	6							28	28	95
カラヒキ		2	1	1			1			1	5	6	17
ヘコマシ												1	1
スズメ	14			2	2	9	4	2	13	11	15	89	161
ムクドリ			7	9		4	3						23
ハシホソカラ								1					1
個体数合計	54	30	60	53	84	88	63	25	20	21	72	161	731
出現種数	16	12	15	13	9	9	10	10	4	8	8	15	37

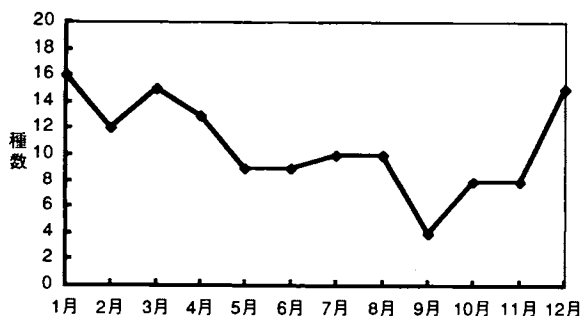


図5 種数の月変化 (ヨシ原)

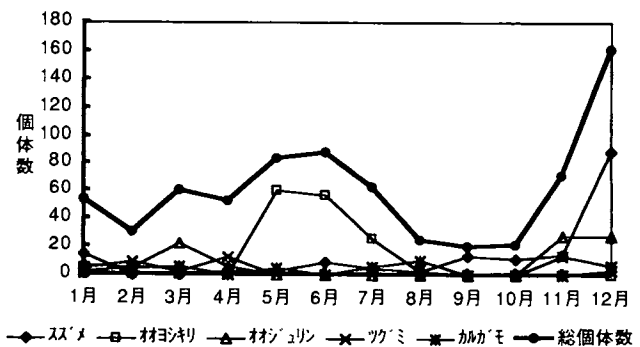


図6 個体数の月変化 (ヨシ原)

表4 種別年間累積個体数 (ヨシ原)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	スズメ	161	21	ウグイス	4
2	オヨシキリ	145	22	ヒメドリ	3
3	オジュリン	95	23	シヨウビドリ	3
4	ツグミ	47	24	セッカ	3
5	カガモ	36	25	カシラダカ	3
6	ツハメ	24	26	アオキ	2
7	ムクドリ	23	27	ハヤブサ	2
8	ホシロ	22	28	キジ	2
9	コガモ	21	29	カセミ	2
10	キジハト	21	30	ヒヨドリ	2
11	バン	20	31	コサキ	1
12	オバン	17	32	ミコアイサ	1
13	カワビ	17	33	オオカ	1
14	アジ	11	34	チュウビ	1
15	ゴイサキ	10	35	死ハリ	1
16	ヨシコイ	8	36	ヘビマシコ	1
17	ハセキレイ	7	37	ハシホソガラ	1
18	モズ	5	計		731
19	イワツハメ	4			
20	セグロセキレイ	4			

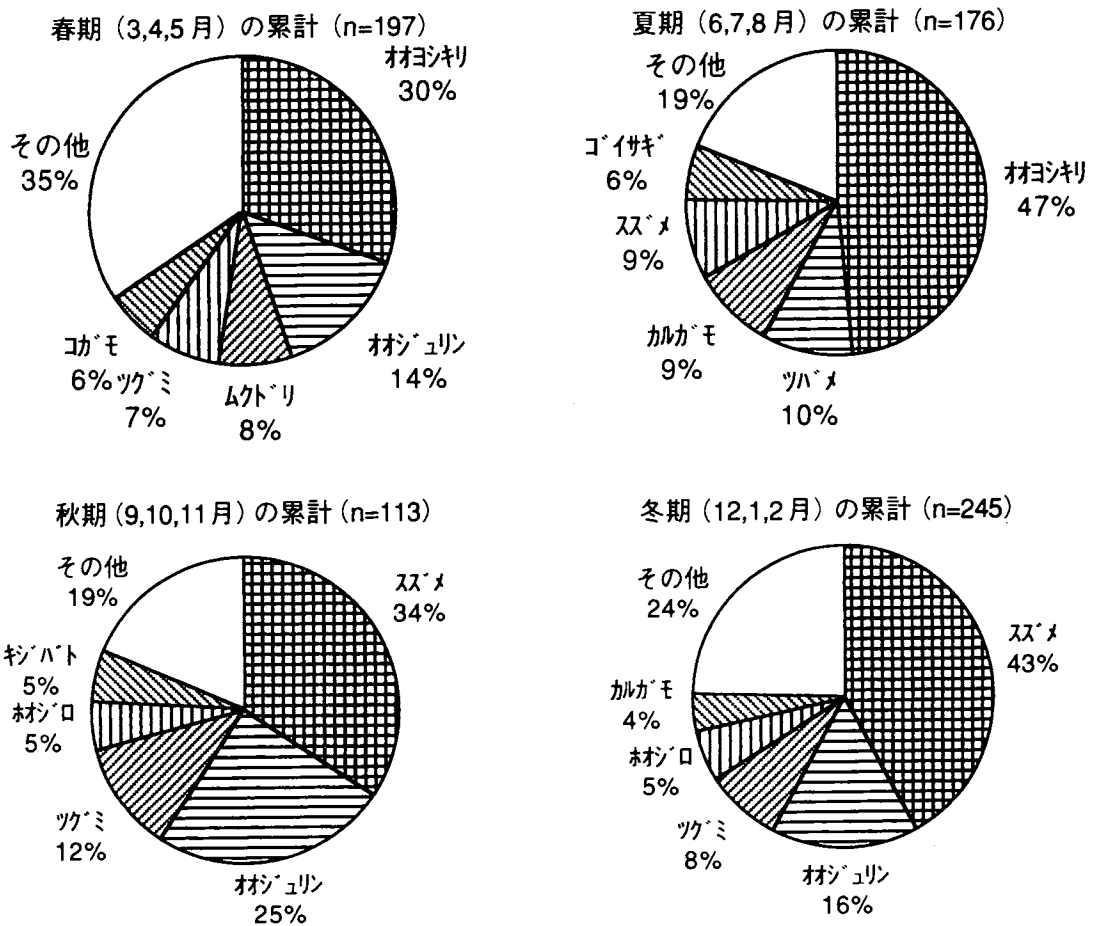


図7 各季節の優占種 (ヨシ原)

表5 水田・畑地のセンサス結果 (1997年)

種名	月/日												計
	01/17	02/14	03/13	04/16	05/13	06/18	07/15	08/05	09/19	10/15	11/18	12/16	
カイツアリ								1					1
コイサキ							3						3
アマサキ					2	3	5	15	14				39
ダイサキ						1	1		1				3
チュウサキ					5	5	7	2	9	13			41
コサキ											1		1
かしかも				4	7	2	2	1					16
チュウヒ												1	1
チョウゲンホウ	1		1					2		1			5
キン				1									1
ハシ							1						1
コトトリ					3	1	2	6					12
ムナグロ					24								24
タナリ	9												9
キョウシヨシキ					8								8
タカシキ								1					1
キアシキ					2								2
イソシキ	1												1
タシキ				2	1				6	1	2		12
オシシキ									4				4
コアシサン					1								1
キンハト	6	2	5	2	1			8	4	3		2	33
ヒバリ	26	33	33	14	12	12	9	6	5	37	38	69	294
ショウトウツハメ									5	2			7
ツハメ				2		6	3	16	3				30
ハクセキレイ	1	3	1					5	7	4	2		23
セウロセキレイ		1								2			3
タヒバリ	9	11	1	1							7	9	38
モズ		1							1	2	2		6
ツグミ	21	31	22	24									98
オオヨシキリ					4	6	6						16
セッカ				4	2	5	11	10	2				34
ホシノロ										1	1		2
カンラダカ	8	13	25	14							5	16	81
オジュリン	16	27	16										59
カラヒワ	44	117		25	1	3	2				21	15	228
スズメ		202			5		3	18	24	43	28	42	365
ムクトリ	6	1		10	7			5	65		2		96
ハシホソカラス	3	1	3		1	2	1	4	4	4	2	3	28
ハシブトカラス				2	2	1				1			6
カラハト(トハト)	1										4		5
個体数合計	152	443	107	105	88	47	58	98	154	114	115	157	1638
出現種数	14	13	9	13	18	12	15	14	15	13	13	8	41

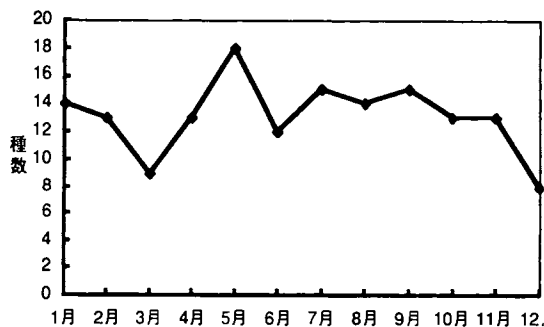


図8 種数の月変化 (水田・畑地)

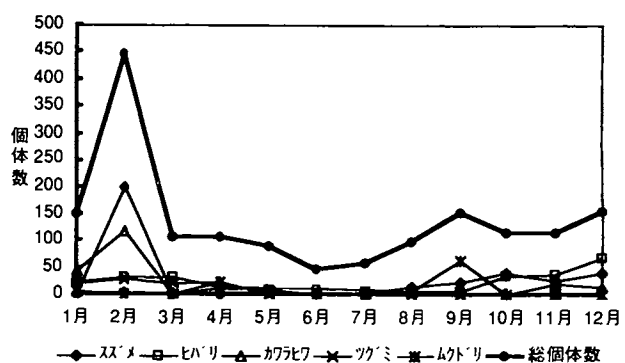
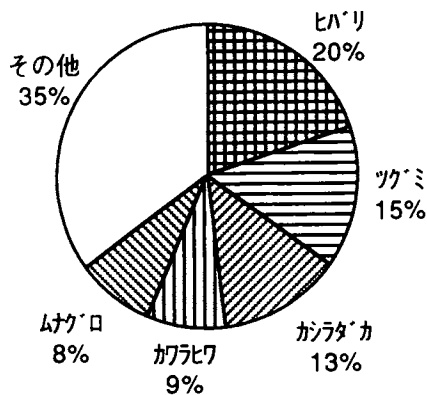


図9 個体数の月変化 (水田・畑地)

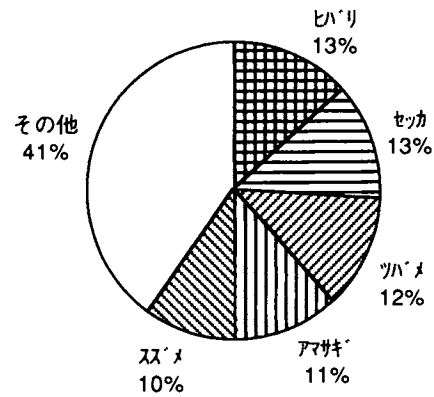
表6 種別年間累積個体数（水田・畑地）

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	スズメ	365	22	キョウジヨシキ	8
2	ヒバリ	294	23	ショウトウツハメ	7
3	カラビワ	228	24	モズ	6
4	ツグミ	98	25	ハシブトガラス	6
5	ムクドリ	96	26	チョウゲンホウ	5
6	カシラダカ	81	27	カラバト(トハト)	5
7	オジュリン	59	28	オシシキ	4
8	チュウサキ	41	29	ゴイサキ	3
9	アマサキ	39	30	タイサキ	3
10	クビナ	38	31	セウロキ	3
11	セッカ	34	32	キアシキ	2
12	キンバト	33	33	オシロ	2
13	ツハメ	30	34	カイツリ	1
14	ハシホソガラス	28	35	コサキ	1
15	ムナグロ	24	36	チュウヒ	1
16	ハクセキレイ	23	37	キジ	1
17	カカモ	16	38	バン	1
18	オヨソキ	16	39	クワシキ	1
19	コトドリ	12	40	イソギ	1
20	タビ	12	41	コアシサシ	1
21	クナ	9		計	1,638

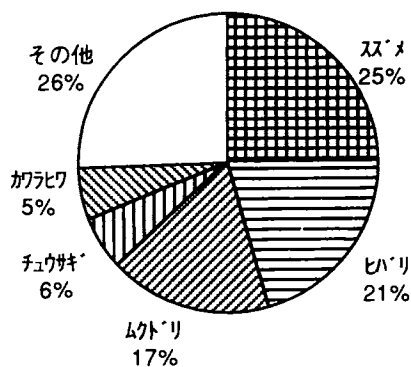
春期（3,4,5月）の累計（n=300）



夏期（6,7,8月）の累計（n=203）



秋期（9,10,11月）の累計（n=383）



冬期（12,1,2月）の累計（n=752）

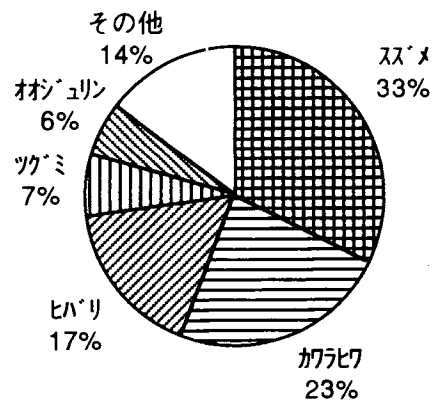


図10 各季節の優占種（水田・畑地）

表7 水田・畑地のセンサス結果 (1998年)

種名	月/日												計
	01/21	02/17	03/17	04/16	05/20	06/16	07/14	08/11	09/17	10/14	11/17	12/15	
カイツリ				1		1		1			3		6
ヨシコイ						1	1	1					3
コイサキ							1						1
アマサキ				1	2		6	10	26				45
タイサキ			1		1				2				4
チュウサキ				6	3	3	11	7	6	2			38
コサキ								1	9	1	1		12
アサキ									2				2
カカモ				24	4	3			5	3			39
チョウゲンホウ	1	1	1										3
キジ				1			1	2	1				5
ハン							2	1					3
タマサキ						1							1
コトトリ				1	3		6	9					19
ムクワ				4									4
タケリ	6											7	13
キアシキ					1								1
イソサキ								5					5
タサキ	1				1		1	2	14				19
キジハト	9	4	1					2		1		8	25
ヒバリ	85	28	16	24	10	7	6	6	4	22	68	56	332
ツハメ				3	2	20	36	27					88
ハセキレイ	3		2		1		1		1	1	1	2	12
クハリ	16	10	4	11							11	15	67
モス										2			2
ツグミ	20	20	20	21							1	18	100
ヨシサリ							1						1
オヨシサリ					10	13	7	3					33
セッカ				1	3	2	5	11	3			1	26
ホシロ												3	3
ガラタカ	18	11	12										41
オシユリン	1											3	4
ガラヒワ	6	9	2	7		1	8	1			2	36	72
スズメ	40	7		2	5		8	30	6	16	25	20	159
ムクワ	4		12	4	3	8	7					30	68
バシソカラス	5	2	1	14	1	5	4	2	1	3	1		39
バシハトカラス				1								1	2
カラハト(トハト)										3			3
個体数合計	215	92	72	126	50	65	111	120	68	68	113	200	1,300
出現種数	14	9	11	17	15	12	17	18	13	11	9	13	38

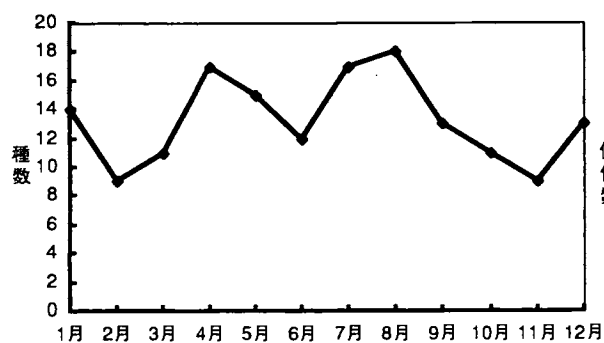


図11 種数の月変化 (水田・畑地)

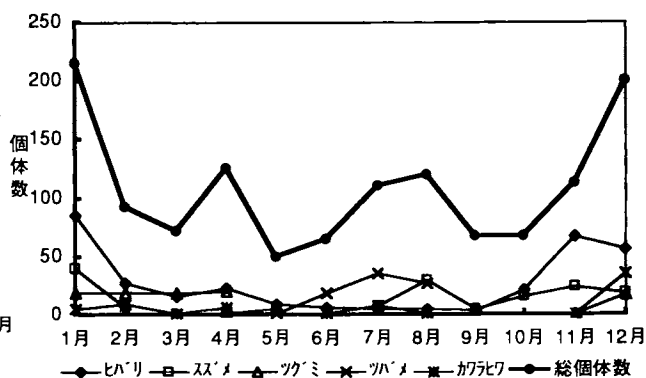
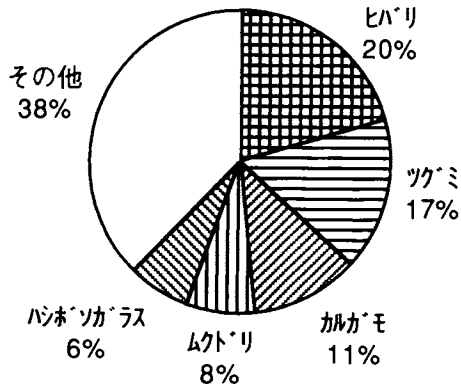


図12 個体数の月変化 (水田・畑地)

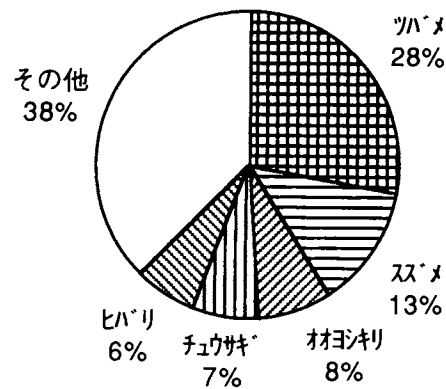
表8 種別年間累積個体数 (水田・畑地)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	ヒバリ	332	21	カツアリ	6
2	スズメ	159	22	キジ	5
3	ツグミ	100	23	イソキ	5
4	ツバメ	88	24	タイサキ	4
5	カラビワ	72	25	ムクドリ	4
6	ムクドリ	68	26	オシジュリン	4
7	死ヒバリ	67	27	ヨシコイ	3
8	アマサキ	45	28	チョウゲンホウ	3
9	ガラタカ	41	29	バン	3
10	カガモ	39	30	オシロ	3
11	ハシホソガラス	39	31	カラハト(トハト)	3
12	チュウサキ	38	32	アサキ	2
13	オヨシキリ	33	33	モス	2
14	セッカ	26	34	ハシトガラス	2
15	キジハト	25	35	ゴイサキ	1
16	コトドリ	19	36	タマサキ	1
17	タシキ	19	37	キアシキ	1
18	タケリ	13	38	ヨシキリ	1
19	コサキ	12		計	1,300
20	ハクセキレイ	12			

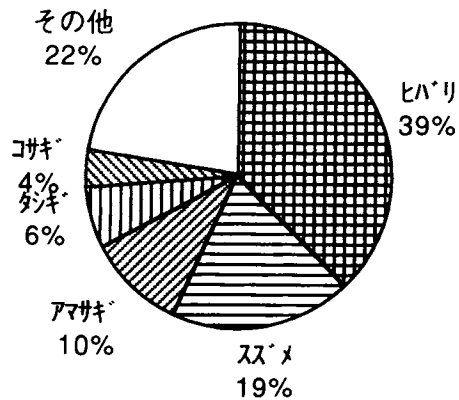
春期 (6,7,8月) の累計 (n=248)



夏期 (6,7,8月) の累計 (n=296)



秋期 (9,10,11月) の累計 (n=249)



冬期 (12,1,2月) の累計 (n=507)

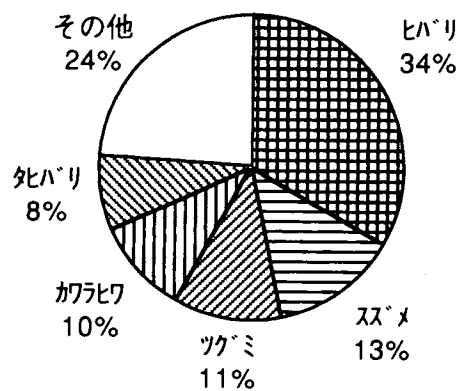


図13 各季節の優占種 (水田・畑地)

表9 斜面林のセンサス結果 (1997年)

種名	月/日												計
	01/17	02/17	03/13	04/16	05/15	06/19	07/16	08/26	09/19	10/16	11/19	12/17	
ゴイサキ									1				1
ツミ				1									1
コシユイ	1					1	2						4
キン		1		2	2	2	1						8
キンハト	1	1	6	4	3	1	2	5	3	1	4	12	43
フクロ											1		1
コガラ	1	1	1	1	1	1		1	2	1	2		12
ツハメ				2	3	1		1	1				8
ハウセキレイ						1	4				2	2	9
ヒンスイ												3	3
ヒヨトリ	19	15	20	16	18	16	16	12	10	49	42	39	272
モズ									1	1			2
ルビキ	1		1								1		3
トラツグミ												1	1
アカハラ		1	3	2							2		8
シロハラ	2	3	4	2									11
ツグミ	1											1	2
ウグイス	2	1	1							1	4	2	11
キウイタキ											2		2
ヒガラ	2	2	6										10
ヤマガラ	2	3	3										8
シジュウカラ	1	1	3		1			2	7	3	1	1	20
メジロ	11	2	5	3	2	2	4	5	3	11	4	9	61
ホシロ	1	1			1		2	1	1	2	1		10
カンラタカ												1	1
アオジ	8	9	13	6							8	10	54
ガラビフ	5	2	1	5	4	7	3	3				3	33
マヒワ	5												5
シメ	3	2		4							1		10
スズメ	1	4	3	5	8	15	6	5		1	8		56
ムクドリ		1	4	1	3	2	23	4	1	2			41
カス	4		1										5
オガ				14						5			19
ハシボソガラス			2										2
ハシトガラス		1	3	1	1	4	3	2		1		4	20
キツク科sp.										1			1
ツグミ科sp.												5	5
ヒキ科sp.												1	1
個体数合計	71	51	80	69	47	53	66	41	35	76	83	92	764
出現種数	19	18	18	16	12	12	11	11	11	12	15	12	35

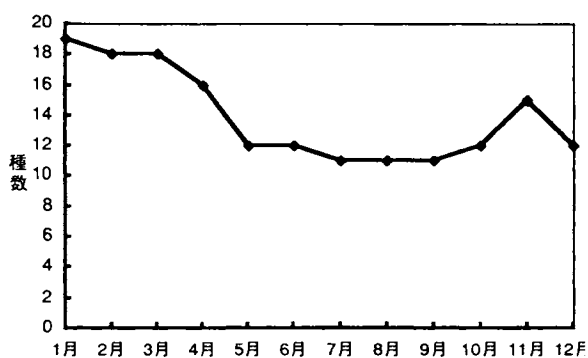


図14 種数の月変化 (斜面林)

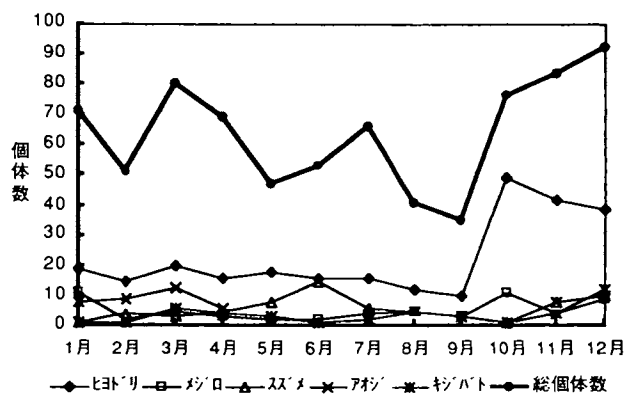
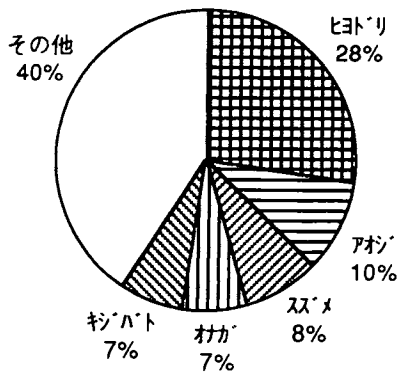


図15 個体数の月変化 (斜面林)

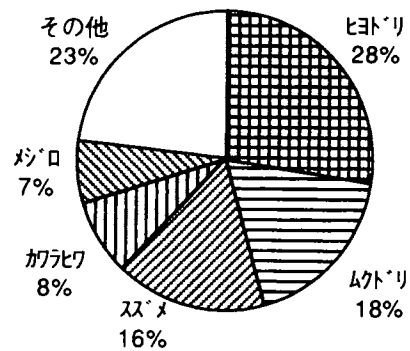
表 10 種別年間累積個体数 (斜面林)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	ヒヨドリ	272	21	ヤマガラ	8
2	メジロ	61	22	マヒワ	5
3	スズメ	56	23	カス	5
4	アオジ	54	24	ツグミ亜科sp.	5
5	キンハト	43	25	コジュケイ	4
6	ムクドリ	41	26	ヒンスイ	3
7	カワヒク	33	27	ルビキ	3
8	シジュウカラ	20	28	モズ	2
9	ハブトガラス	20	29	ツグミ	2
10	オカ	19	30	キイタキ	2
11	コガラ	12	31	ハシホソガラス	2
12	シロハラ	11	32	ゴイサキ	1
13	ウグイス	11	33	ツミ	1
14	ヒガラ	10	34	フクロウ	1
15	オシロ	10	35	トラツグミ	1
16	シメ	10	36	カシラカ	1
17	ハクセキレイ	9	37	キツキ科sp.	1
18	キン	8	38	ヒタキ亜科sp.	1
19	ツバメ	8		計	764
20	アカハラ	8			

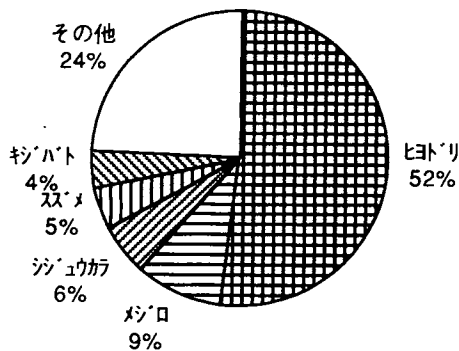
春期 (3,4,5月) の累計 (n=196)



夏期 (6,7,8月) の累計 (n=160)



秋期 (9,10,11月) の累計 (n=194)



冬期 (12,1,2月) の累計 (n=214)

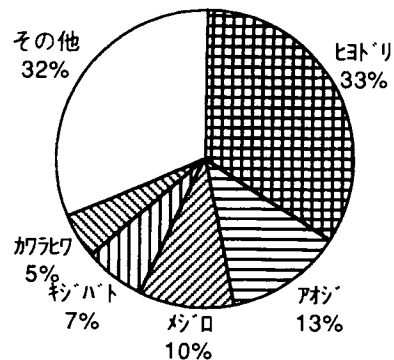


図 16 各季節の優占種 (斜面林)

表 11 斜面林のセンサス結果 (1998 年)

種名	月/日												計
	01/22	02/18	03/18	04/17	05/21	06/17	07/14	08/25	09/22	10/15	11/18	12/16	
コジュケイ		1						1					2
キジ	1			1	2	1							5
キジバト	3	6	4	4	1	2	2	4	5	2	1	9	43
フクロウ										1			1
カケミ				1			2		1				4
コガラ	4	1	1	3	2	3	1			2		1	18
ツバメ				1	2	1							4
ハクセキレイ			1	2	1	1			1		1	1	8
ヒメスズメ	3	5	3									1	12
ヒヨドリ	11	16	12	15	12	14	14	18	7	26	27	24	196
モズ											1	1	2
オビヒトコ		1	1										2
アカハラ		1										1	2
シロハラ	1	1	1	1						3	2		9
ツグミ	1	2		3						3	3		12
ウグイス	2	2	3	1						3	3		14
キイタビ	3	7											10
ジュウカク	3	5		2	2	1	1			2	2	1	19
メジロ	11	4	2	4		2	2	4	5		9	9	52
オシロイ	1			1	4	1					2	1	10
カラタカ	2												2
ミヤマオシロイ	2	2											4
アオジ	15	12	22	11							6	7	73
カラビ	6	10	5	5	9	3			1	1	3	3	46
シメ	1	1										2	4
スズメ		4	4	7	9	11	1	2			1	2	41
ムクドリ	9		2	2	4	2	15	3	3				40
カス				1						1			2
ハシロ						2							2
ハシロガサ	1	2		1	1	1	2	3		1	1	2	15
ツグミ亜科sp.	1	1		2									4
個体数合計	81	84	61	68	49	45	40	35	23	35	64	73	658
出現種数	19	19	13	19	12	14	9	7	7	7	15	18	30

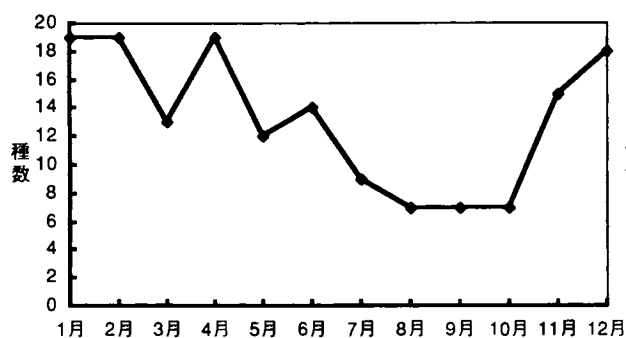


図 17 種数の月変化 (斜面林)

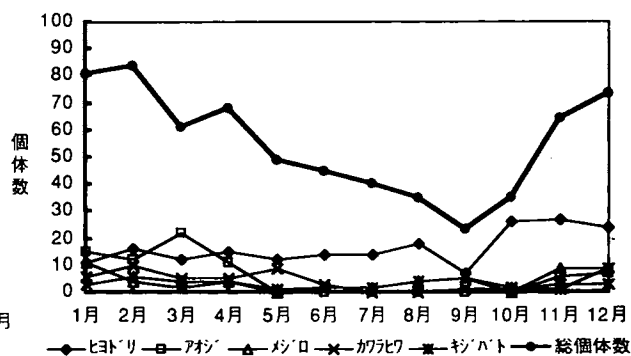
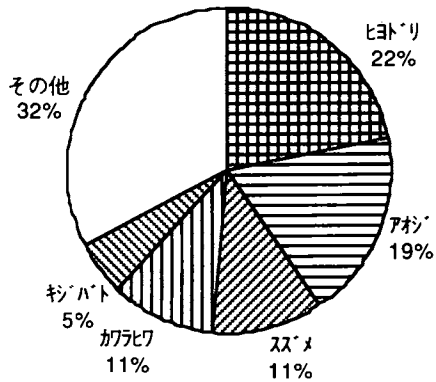


図 18 個体数の月変化 (斜面林)

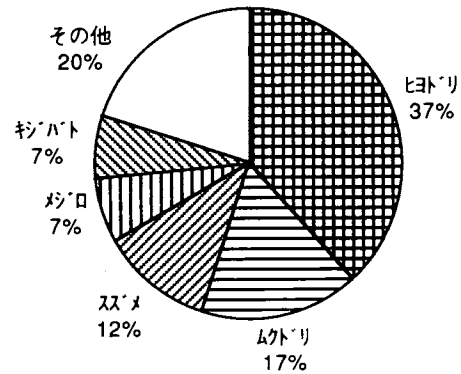
表 12 種別年間累積個体数 (斜面林)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	ヒヨドリ	196	21	ヤマホシジロ	4
2	アオジ	73	22	シメ	4
3	メジロ	52	23	ツグミ亜科sp.	4
4	カラビワ	46	24	ゴジュウイ	2
5	キジハト	43	25	モス	2
6	スズメ	41	26	ルビキ	2
7	ムクドリ	40	27	アカハラ	2
8	シジュウカラ	19	28	カンラダカ	2
9	コガラ	18	29	カス	2
10	ハシブトガラス	15	30	ハシボソガラス	2
11	ウグイス	14	31	アケボ	1
12	ヒンスイ	12		計	658
13	ツグミ	12			
14	キウイタキ	10			
15	ホシジロ	10			
16	シロハラ	9			
17	ハクセキレイ	8			
18	キジ	5			
19	カケシ	4			
20	ツバメ	4			

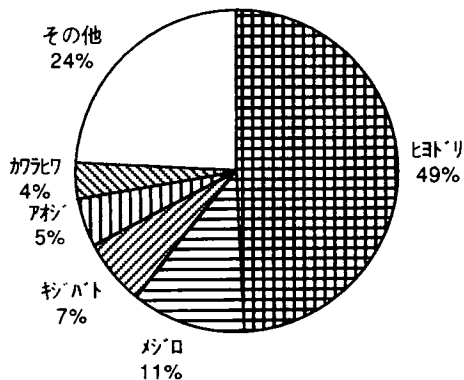
春期 (3,4,5月) の累計 (n=179)



夏期 (6,7,8月) の累計 (n=120)



秋期 (9,10,11月) の累計 (n=122)



冬期 (12,1,2月) の累計 (n=238)

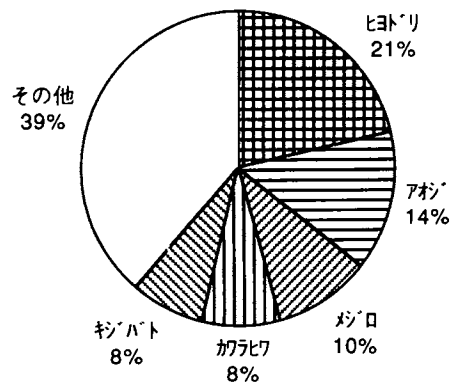


図 19 各季節の優占種 (斜面林)

引用文献

- 黒田長久. 1985. 水鳥の里,手賀沼-我孫子移転にあたって-. 山階鳥類研究所報告 17(72): 3-8.
- 斉藤安行・百瀬邦和・平岡考・鶴見みや古・大山紀子. 1992a. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅰ-ヨシ原、水田・畑地, 斜面林(1988-1991)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告1:43-59.
- 斉藤安行・平岡考・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1992b. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅱ-水面(1988-1990)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告1: 61-73.
- 斉藤安行・大山紀子. 1993. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅲ-ヨシ原, 水田・畑地, 斜面林(1992)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告2:25-34.
- 斉藤安行・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅳ-ヨシ原, 水田・畑地, 斜面林(1993)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3:71-79.
- 斉藤安行・大山紀子. 1995. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅵ-ヨシ原, 水田・畑地, 斜面林(1994)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告4:43-53.
- 斉藤安行・大山紀子. 1996. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅷ-ヨシ原, 水田・畑地, 斜面林(1995)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告5:175-185.
- 斉藤安行・大山紀子. 1999. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅹ-ヨシ原, 水田・畑地, 斜面林(1996)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告7:19-29.
- 平岡考・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス調査Ⅴ-水面(1991-1993)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3: 81-89.
- 平岡考・大山紀子・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古. 1995. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス調査Ⅶ-水面(1994)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告4: 55-60.
- 平岡考・鶴見みや古・大山紀子・斉藤安行・百瀬邦和. 1996. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス調査Ⅸ-水面(1995)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告5: 187-192.
- 平岡考・百瀬邦和・鶴見みや古・太田紀子・斉藤安行. 1999. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス調査Ⅺ-水面(1996)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告7: 31-36.
- 平岡考・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古・太田紀子. 2000. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス調査Ⅻ-水面(1997)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告8: 43-48.

Bird Census Report for Tega Marsh and Surrounding Areas XIII
-Reed bed, Farmland, Woodland(1997-1998)-

Yasuyuki Saito¹ and Noriko Ohta^{1,2}

1. Abiko City Museum of Birds, Kohnoyama 234-3, Chiba, 270-1145, Japan
2. Yamashina Institute for Ornithology, Kohnoyama 115, Chiba, 270-1145, Japan

KEY WORDS: Avifauna, count survey, reedbed, farmland, coppice forest, Tega marsh, Chiba prefecture

付表1 調査日時と天候 (1997)

調査日 月.日	天候	調査地								
		ヨシ原			斜面林			水田・畑		
		開始	終了	調査者	開始	終了	調査者	開始	終了	調査者
1.17	晴れ	8:43	9:28	大山紀子	8:32	9:12	斉藤安行	9:28	9:58	斉藤安行
2.14	晴れ	9:15	9:57	斉藤安行	8:12	8:53	斉藤安行	10:30	11:08	斉藤安行
3.13	曇り	8:32	9:43	大山紀子	8:45	9:30	斉藤安行	9:52	10:24	斉藤安行
4.16	曇り/晴れ	9:10	9:50	斉藤安行	8:10	8:48	斉藤安行	10:20	11:00	斉藤安行
5.15	曇り	9:07	9:51	斉藤安行	8:17	8:47	斉藤安行	9:40	10:15	斉藤安行
6.18	曇り							9:27	9:52	斉藤安行
6.19	曇り	9:20	10:09	斉藤安行	8:20	8:54	斉藤安行			
7.15	晴れ							9:33	10:08	斉藤安行
7.16	曇り	9:24	10:14	斉藤安行	8:20	9:02	斉藤安行			
8.15	晴れ							9:50	10:35	斉藤安行
8.26	曇り	10:30	12:26	斉藤安行	8:20	9:07	斉藤安行			
9.19	晴れ/曇り	9:23	10:05	斉藤安行	8:20	8:58	斉藤安行	10:08	10:45	斉藤安行
10.15	晴れ							10:15	11:08	斉藤安行
10.16	晴れ	9:20	10:22	斉藤安行	8:06	8:58	斉藤安行			
11.18	晴れ							10:30	11:10	斉藤安行
11.19	曇り	9:47	10:37	斉藤安行	8:15	9:27	斉藤安行			
12.16	晴れ							10:30	11:19	斉藤安行
12.17	曇り	9:38	10:23	斉藤安行	8:18	9:14	斉藤安行			

付表2 調査日時と天候 (1998)

調査日 月.日	天候	調査地								
		ヨシ原			斜面林			水田・畑		
		開始	終了	調査者	開始	終了	調査者	開始	終了	調査者
1.21	晴れ							10:37	11:20	斉藤安行
1.22	晴れ	9:42	10:36	斉藤安行	8:15	9:18	斉藤安行			
2.17	晴れ							10:15	10:47	斉藤安行
2.18	晴れ	9:47	10:33	斉藤安行	8:12	9:20	斉藤安行			
3.17	晴れ							10:10	10:40	斉藤安行
3.18	晴れ	9:28	10:20	斉藤安行	8:13	9:00	斉藤安行			
4.16	曇り/雨							10:05	10:45	斉藤安行
4.17	曇り	9:25	10:08	斉藤安行	8:16	9:03	斉藤安行			
5.20	晴れ							10:12	10:56	斉藤安行
5.21	晴れ	9:26	10:20	斉藤安行	8:20	9:02	斉藤安行			
6.16	曇り							10:00	10:40	斉藤安行
6.17	曇り	9:26	10:14	斉藤安行	8:19	8:56	斉藤安行			
7.14	晴れ	9:53	10:38	斉藤安行	9:02	9:29	斉藤安行	8:06	8:37	斉藤安行
8.11	晴れ							9:50	10:57	斉藤安行
8.25	晴れ	10:30	11:23	斉藤安行	8:15	9:05	斉藤安行			
9.17	曇り							10:00	10:37	斉藤安行
9.22	曇り	9:55	10:32	斉藤安行	9:06	9:36	斉藤安行			
10.14	雨							9:46	10:26	斉藤安行
10.15	晴れ/曇り	9:38	10:21	斉藤安行	8:17	8:58	斉藤安行			
11.17	晴れ							10:27	10:57	斉藤安行
11.18	晴れ	9:10	9:57	斉藤安行	8:09	8:45				
12.15	曇り							10:27	11:08	斉藤安行
12.16	曇り	9:16	10:18	斉藤安行	8:14	8:55	斉藤安行			